

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月12日

【四半期会計期間】 第111期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 愛三工業株式会社

【英訳名】 AISAN INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 小林 信 雄

【本店の所在の場所】 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1

【電話番号】 大府(0562)47 1131(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 石 田 智 也

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

【電話番号】 東京(03)3271 5321

【事務連絡者氏名】 東京事務所長 塚 崎 成 彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第110期 第3四半期連結 累計期間	第111期 第3四半期連結 累計期間	第110期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(百万円)	105,922	126,322	149,892
経常利益	(百万円)	2,729	5,852	4,887
四半期(当期)純利益	(百万円)	583	3,374	1,811
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	349	3,340	1,176
純資産額	(百万円)	56,867	60,888	58,395
総資産額	(百万円)	127,744	134,829	137,406
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	10.52	60.81	32.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			32.64
自己資本比率	(%)	43.31	43.85	41.36

回次		第110期 第3四半期連結 会計期間	第111期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	(円)	4.71	18.72

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第110期第3四半期連結累計期間および第111期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。
 また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した「事業等のリスク」はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の経済情勢は、総じて緩やかな回復基調でありましたが、欧州債務問題や為替の影響などもあり、不透明な状況が続きました。

自動車業界におきましては、国内のエコカー補助金終了による反動減や、中国での需要減はありましたものの、北米市場の回復などにより、自動車生産は、おおむね堅調に推移いたしました。

このようななか、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は1,263億2千2百万円（前年同期比19.3%増）となり、営業利益は59億5千8百万円（前年同期比85.5%増）、経常利益は58億5千2百万円（前年同期比114.4%増）となりました。また、四半期純利益は33億7千4百万円（前年同期比477.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[日本]

売上高は836億9千7百万円（前年同期比14.2%増）となり、営業利益は32億3千6百万円（前年同期比171.7%増）となりました。

[アジア]

売上高は323億8千1百万円（前年同期比27.2%増）となり、営業利益は29億1千4百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

[北米]

売上高は169億6千万円（前年同期比44.3%増）となり、営業利益は2億2千8百万円（前年同期比104.9%増）となりました。

[欧州]

売上高は55億1千7百万円（前年同期比0.0%減）となり、営業損失は2億3千万円（前年同期は営業損失4億5千8百万円）となりました。

(2) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は62億8千5百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	190,000,000
計	190,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,509,096	55,509,096	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	55,509,096	55,509,096		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年2月1日以降当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		55,509,096		7,488		9,490

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないため、直前の基準日である平成24年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,459,000	554,590	
単元未満株式	普通株式 28,296		
発行済株式総数	55,509,096		
総株主の議決権		554,590	

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 愛三工業株式会社	愛知県大府市共和町一丁目 1番地の1	21,800		21,800	0.03
計		21,800		21,800	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,169	24,132
受取手形及び売掛金	29,602	22,540
電子記録債権	2,569	3,482
有価証券	2,783	1,729
商品及び製品	4,169	4,360
仕掛品	3,913	3,675
原材料及び貯蔵品	6,548	7,426
繰延税金資産	5,638	3,452
未収還付法人税等	235	187
その他	4,112	4,435
貸倒引当金	64	59
流動資産合計	80,680	75,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,475	12,968
機械装置及び運搬具（純額）	22,161	21,211
土地	5,477	5,488
建設仮勘定	2,289	4,813
その他（純額）	1,931	2,048
有形固定資産合計	45,335	46,531
無形固定資産		
のれん	162	45
その他	910	840
無形固定資産合計	1,073	885
投資その他の資産		
投資有価証券	2,548	3,416
繰延税金資産	3,050	4,042
その他	4,766	4,636
貸倒引当金	47	46
投資その他の資産合計	10,317	12,049
固定資産合計	56,726	59,466
資産合計	137,406	134,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,822	21,476
短期借入金	3,297	4,155
1年内返済予定の長期借入金	44	1,043
未払費用	6,715	5,755
未払法人税等	368	485
製品保証引当金	9,563	5,683
役員賞与引当金	123	75
その他	7,684	8,663
流動負債合計	51,619	47,339
固定負債		
長期借入金	15,741	14,717
退職給付引当金	8,308	8,928
役員退職慰労引当金	304	233
その他	3,036	2,721
固定負債合計	27,390	26,601
負債合計	79,010	73,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,488	7,488
資本剰余金	9,490	9,490
利益剰余金	45,786	48,272
自己株式	21	21
株主資本合計	62,744	65,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	612	711
為替換算調整勘定	6,529	6,816
その他の包括利益累計額合計	5,917	6,105
新株予約権	301	291
少数株主持分	1,266	1,472
純資産合計	58,395	60,888
負債純資産合計	137,406	134,829

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	105,922	126,322
売上原価	94,247	109,575
売上総利益	11,674	16,747
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,051	1,163
給料及び手当	3,341	3,326
製品保証引当金繰入額	422	1,765
役員賞与引当金繰入額	86	78
退職給付費用	252	234
役員退職慰労引当金繰入額	50	53
その他	3,258	4,167
販売費及び一般管理費合計	8,462	10,788
営業利益	3,211	5,958
営業外収益		
受取利息	82	81
受取配当金	43	53
雇用調整助成金	96	-
雑収入	246	159
営業外収益合計	470	294
営業外費用		
支払利息	170	171
為替差損	658	42
固定資産除売却損	62	139
雑損失	61	46
営業外費用合計	952	400
経常利益	2,729	5,852
特別利益		
新株予約権戻入益	20	38
特別利益合計	20	38
特別損失		
退職給付制度改定損	93	-
特別損失合計	93	-
税金等調整前四半期純利益	2,656	5,891
法人税、住民税及び事業税	776	1,082
法人税等調整額	1,163	1,222
法人税等合計	1,940	2,305
少数株主損益調整前四半期純利益	716	3,586
少数株主利益	132	212
四半期純利益	583	3,374

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	716	3,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	98
繰延ヘッジ損益	1	-
為替換算調整勘定	874	343
その他の包括利益合計	1,066	245
四半期包括利益	349	3,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432	3,185
少数株主に係る四半期包括利益	82	155

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	6,174百万円	6,061百万円
のれんの償却額	124	117

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月15日 定時株主総会	普通株式	332	6	平成23年3月31日	平成23年6月16日	利益剰余金
平成23年10月27日 取締役会	普通株式	332	6	平成23年9月30日	平成23年11月25日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月13日 定時株主総会	普通株式	443	8	平成24年3月31日	平成24年6月14日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	443	8	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	64,228	24,678	11,695	5,320	105,922	-	105,922
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,065	776	62	198	10,102	10,102	-
計	73,294	25,454	11,757	5,518	116,025	10,102	105,922
セグメント利益又は損失()	1,191	2,364	111	458	3,208	2	3,211

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	72,295	31,774	16,870	5,381	126,322	-	126,322
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,401	607	90	136	12,235	12,235	-
計	83,697	32,381	16,960	5,517	138,558	12,235	126,322
セグメント利益又は損失()	3,236	2,914	228	230	6,148	189	5,958

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額 189百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益(円)	10.52	60.81
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	583	3,374
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	583	3,374
普通株式の期中平均株式数(千株)	55,487	55,487

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

中間配当に関する取締役会の決議は次のとおりであります。

- ・ 決議年月日 平成24年10月30日
- ・ 中間配当金の総額 443百万円
- ・ 1株当たりの金額 8円
- ・ 中間配当金支払開始日 平成24年11月26日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月4日

愛三工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 井 夏 樹

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅 井 明 紀 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている愛三工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、愛三工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。